

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 9 月 26 日

事務事業名		歴史的風致形成建造物修理事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	050203000902
					単独/補助	補助		060201
政策体系		政策体系上の位置付け			主要事業		所属課	都市整備課
総合計画の施策名		0502 住環境の整備と景観形成			市長マニフェスト		グループ	都市政策グループ
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり			未来PJ事業			
施策名		02 住環境の整備と景観形成			合併建設計画事業			
手段名		03 ③景観の維持・向上			合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	80	01	00	期間限定複数年 (平成23年度～平成29年度)	
法令根拠		地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律						
【Do】		1. 事務事業の現状把握(その1)						

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
平成21年2月に策定し、同3月に文部科学省、農林水産省、国土交通省に認定された桜川市歴史的風致維持向上計画に位置つけた事業を実施する。 ・市所有歴史的風致形成建造物 2件 ・個人所有歴史的風致形成建造物 27件(補助率2/3 上限200万円) ※歴史的風致形成建造物は、桜川市歴史的風致維持向上計画に記載された歴史的風致に関連する建造物で、10年間の一般公開の同意が得られた物件。 現時点で、指定している建造物は、国有形登録文化財のみで、修理の要望のあった建造物のみ修理費助成している。 平成26年度以降は、必要に応じ歴史的風致形成建造物の追加等を協議するとともに、重点区域内の市補助制度によらない建造物の修理を実施する。	歴史的風致維持向上計画の変更業務 歴史的風致形成建造物の指定 街なみ環境整備事業計画・執行 工事・委託発注・監督業務 修理費補助業務 歴史的風致維持向上推進協議会の開催 歴史的風致維持向上計画の事業進捗評価 市所有歴史的風致形成建造物の賃借料支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
歴史的風致維持向上計画の変更 歴史的風致形成建造物の指定 工事・委託発注・監督業務 歴史的風致維持向上推進協議会の開催 歴史的風致維持向上計画の事業進捗評価 市所有歴史的風致形成建造物の賃借料支払い	歴史的風致形成建造物指定件数	件	30.00	30.00	30.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
修理の必要な歴史的風致形成建造物	修理する歴史的風致形成建造物件数	件	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
歴史的風致形成建造物の修理	修理された歴史的風致形成建造物件数	件	28.00	30.00	30.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	15,000	0	28,509
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	696	-15,000	100	46,491
	事業費計(A)	千円	696	0	100	75,000	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	400.00	300.00	50.00		
	人件費計(B)	千円	1,170	878	146		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,866	878	246		

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
		合計		0		合計

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	歴史的風致形成建造物修理事業	事務事業No.	50203000902	所属課	都市整備課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

桜川市歴史的風致維持向上計画に基づき、修理が必要な登録有形文化財を、歴史的風致形成建造物に指定し、年間1～2棟修理する予定であったが、東日本大震災により多くの登録有形文化財が被災したため、災害復旧を目的とした修理工事を平成23年度から実施している。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

登録有形文化財は、修理費補助制度が無いため、何らかの修理費の補助が求められている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input type="text"/>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input type="text"/>
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="text"/>
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input type="text"/>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="text"/>
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="text"/>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input type="text"/>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>